

## 四国8の字・道中八策

「四国8の字ネットワーク」は、高度医療施設への救急搬送や災害時の緊急輸送などの重要な役割を担う「命の道」であり、さらには、本州四国連絡高速道路と一体となり四国の自立と交流の拡大による産業振興や雇用の拡大、広域観光圏の形成などに大きな効果をもたらすものであり、真に必要な道路として、その早期整備は、四国の切なる願いである。

しかしながら現在、政府が行っている高速道路の整備に関する抜本的な見直しや事業評価の見直し、さらには、平成二十二年度の道路関係予算の大幅な削減などは、今後の高規格幹線道路等の整備に大きな不安を与えている。

についてはここに、四国の総意として「四国8の字・道中八策」を提言する。

一. 国の骨格を形成し、地域の自立と交流拡大を図るとともに、日々の暮らしを支え、緊急時には「命の道」となる「四国8の字ネットワーク」は、国の責任において、必要な予算を確保し早期に完成させること。

一. 事業効果の早期かつ効率的発現の観点から、未だに高速道路ネットワークに欠落箇所があり、最低限の整備ができていない区間に重点投資し、地域の実情に応じた構造規格で早期にネットワーク化すること。

一. 「命の道」の観点から、高速道路が未整備で、救急搬送の遅れによる救命率の低下が懸念される地域や、豪雨災害時等に道路が寸断され、地域や集落が孤立する区間などに重点投資し、早期にネットワーク化すること。

一. 地域活性化の観点から、高速道路の整備により魅力あふれる広域観光圏の構築が可能となる区間や、輸送能力向上により地場産品の販路拡大につながる区間などに重点投資し、中心都市や大都市圏と早期にネットワーク化すること。

一. 第4回国土開発幹線自動車道建設会議で議決された4車線化区間などの整備に早期に着手するとともに、高規格幹線道路等の未着手区間については、供用までの工程表を示すこと。

一. 高規格幹線道路や地域高規格道路などの整備に関する新たな仕組みの検討にあたっては、計画的で着実な整備が可能となるよう措置するとともに、地方の意見を十分に聴くこと。

一. 道路の事業評価においては、救急医療活動の向上や豪雨などによる通行止めへの不安感の解消、産業振興や観光振興による地域活性化など、道路が持つ多様な効果や、地域が抱える個別の実情を反映し、事業の必要性を適切に判断できる仕組みとすること。

一. 四国の経済発展・活性化の観点から、本州四国連絡高速道路を統一料金制度の対象区間に含むとともに、渋滞の懸念に対する配慮や、鉄道やフェリー、高速バスなどの他の公共交通機関への支援を行うこと。

平成二十二年二月十三日

四国8の字ネットワーク整備・利用促進を考える会

高知県知事	尾崎 正直
徳島県知事	飯泉 嘉門
香川県知事	真鍋 武紀
愛媛県知事	加戸 守行
四国経済連合会会長	常盤 百樹